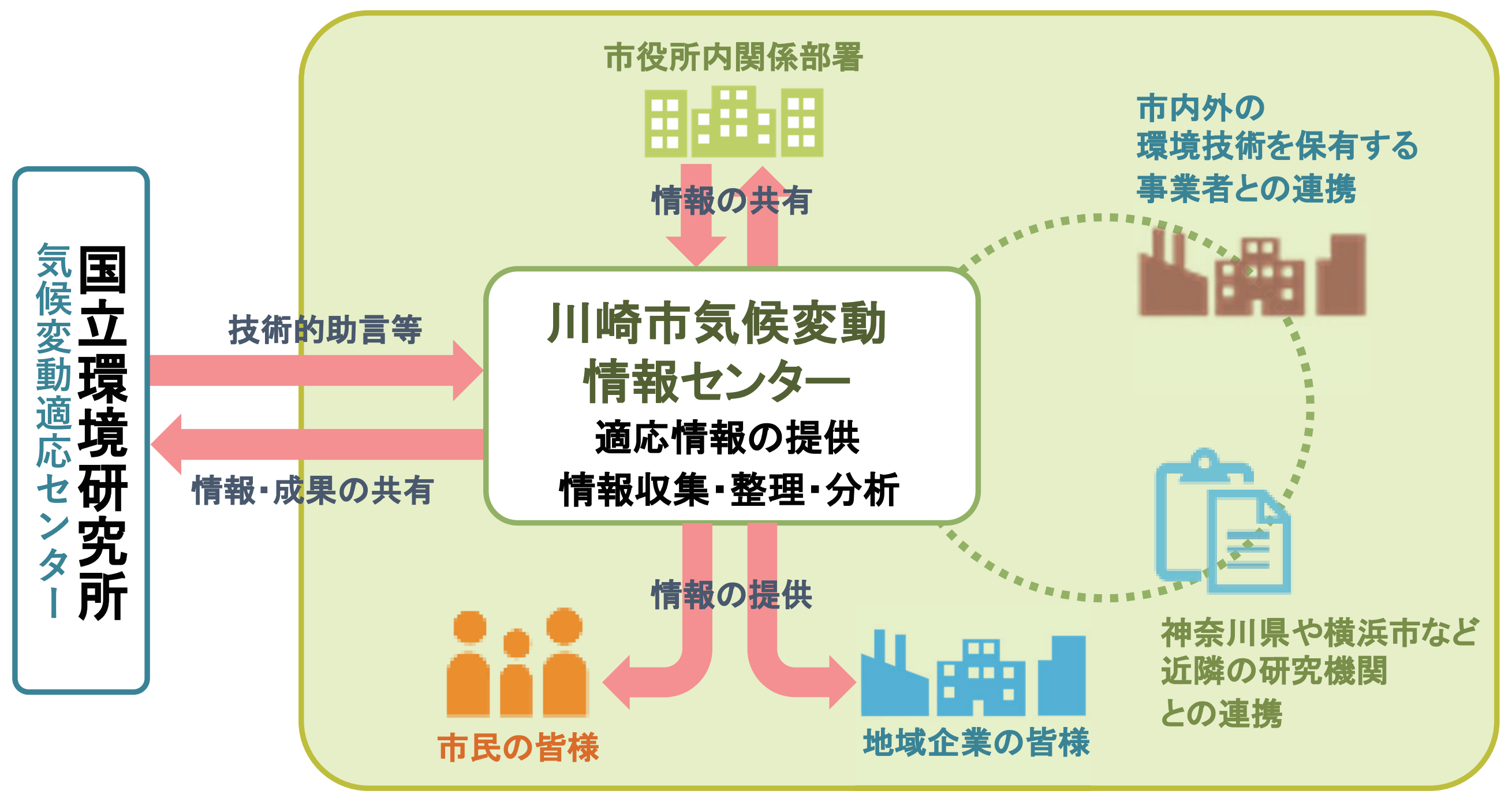


# 環境総合研究所の取組

## 川崎市気候変動情報センターの取組

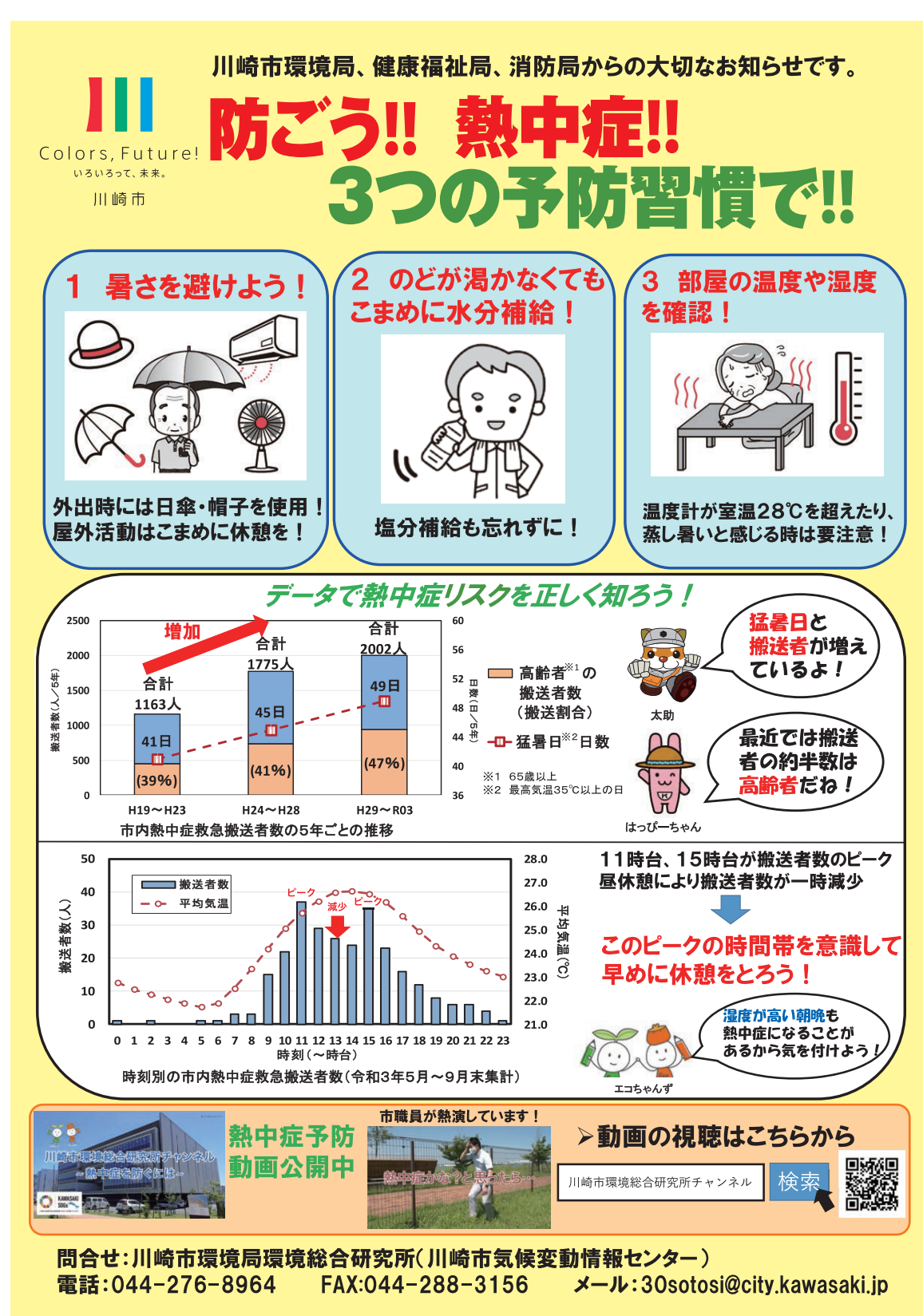
### ●川崎市気候変動情報センターについて

川崎市では気候変動適応法（2018（平成30）年6月公布、同年12月施行）に基づき、2020（令和2）年4月に環境総合研究所内に気候変動情報センターを設置しました。当センターでは、気候変動の影響や適応に関する情報収集、整理、発信を通して、市民や事業者の皆様による気候変動の適応への取組を促進するための支援を行っています。

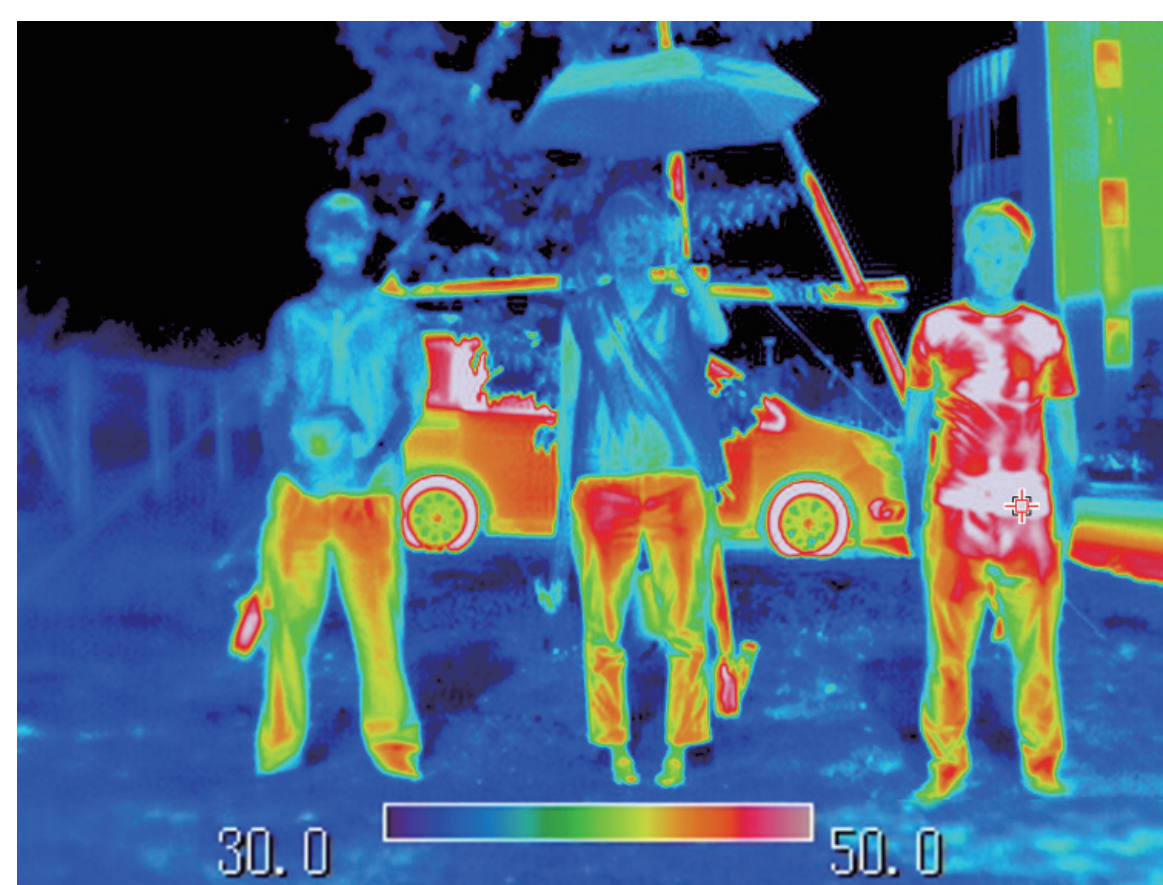


### ●川崎市気候変動情報センターの具体的な取組

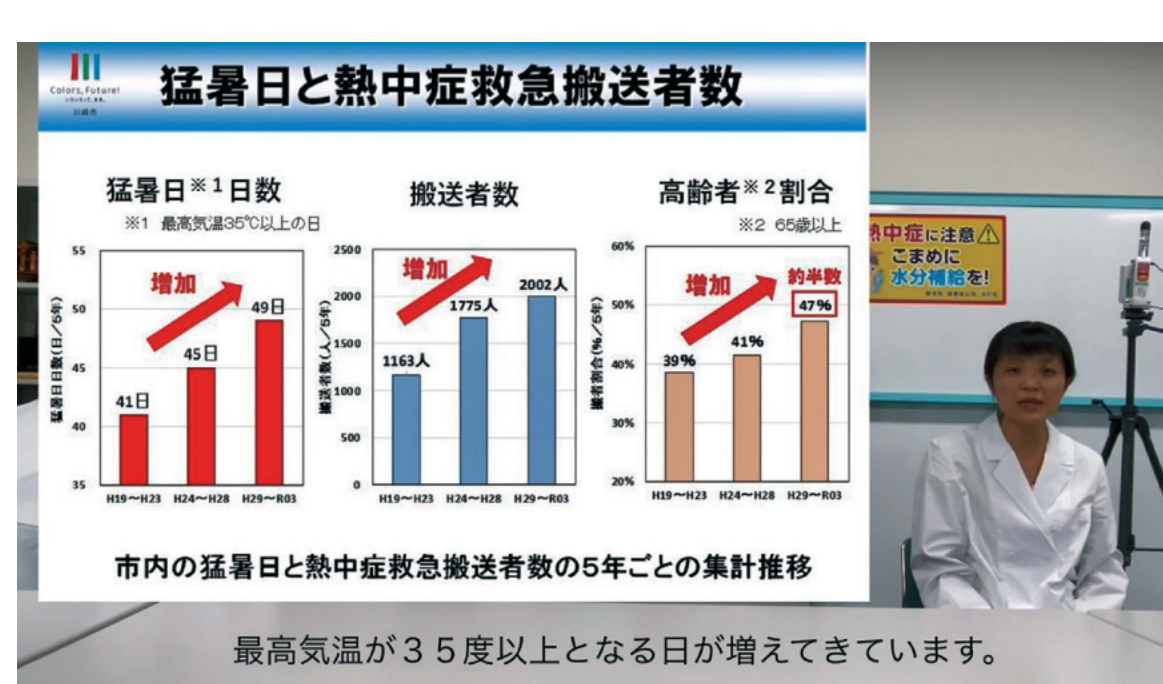
気候変動適応策のひとつである熱中症対策に重点をおいて、調査研究及びそのデータを活用した普及啓発などの取組を進めています。



熱中症予防のチラシ・ポスターを市内各所に配架・掲示



サーモグラフィカメラを用いた日傘や帽子による暑さ軽減効果の調査を実施



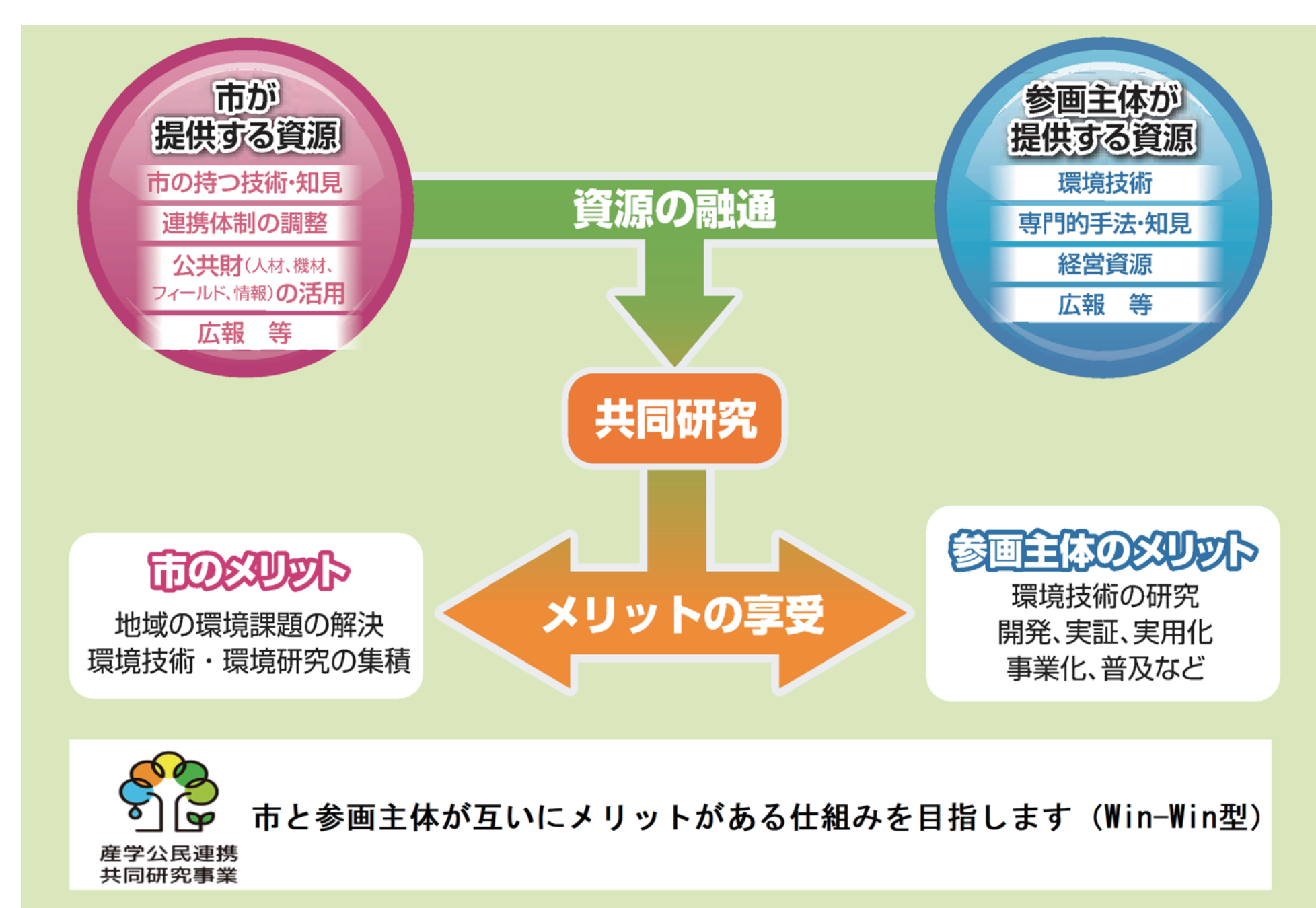
熱中症予防動画公開中



川崎市環境総合研究所チャンネル

## 環境技術産学公民連携共同研究事業

産（企業）、学（大学・研究機関）、公（川崎市）、民（市民団体）と一緒に研究や技術開発を行います。それぞれの機関がもつ物・人・技術・情報を出し合い共同研究を行うことで、川崎市の環境課題の解決につなげます。



株式会社サンオータスとの共同研究  
再エネを利用した乗り捨て型EVカーシェアを普及促進させ、脱炭素社会の構築を目指します。

## 都市間連携と海外の優良事例の収集

### ●都市間連携を通じた国際貢献

川崎市は、環境省と連携し二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism、JCM：途上国と協力して温室効果ガスの削減に取り組み、削減の成果を両国で分け合う制度）を活用したインドネシア国バンドン市との都市間連携事業を行っています。同事業ではバンドン市の脱炭素社会の実現を目指し、川崎市の環境行政の取組や市内関連企業の技術を現地に伝える取組を行っています。



インドネシア国バンドン市で行った事業のキックオフミーティング

### ●海外の優良事例の収集

川崎市は、地球環境戦略研究機関（IGES）と連携し、EUの国際都市地域間協力事業（IURC）に参加しています。同事業では、脱炭素等の持続可能なまちづくりをテーマに共通課題の解決を目的として、クロアチア国ザグレブ市・リエカ市と連携し、EUにおける最新の知見を獲得するための情報収集を行っています。



クロアチア国リエカ市へのスタディツアー